

事業 3

いじめ防止指導者養成講座

- 日時：2013（平成 25）年 2 月 9 日（土）、10 日（日）、11 日（祝月）10:00～16:00
- 対象：教職員・学校関係者、子どもの教育に関心のある人
- 参加者数：51 名
- 会場：神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）
- 主催：神奈川県教育委員会 教育局支援教育部子ども教育支援課、特定非営利活動法人湘南DVサポートセンター

「いじめ防止プログラム指導者養成講座」は、いじめ防止のために地域社会で活躍する人材を育成するための講座です。文部科学省委託「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」における実証的共同研究として、2011（平成 23）年 1 月から始まり、今年度は、神奈川県との協働事業として、米国ミネソタ州からデビッド・マシューズさんをお招きし、著書「10 代のいじめ加害者 101 のアクティビティ」の中のアクティビティを紹介していただきました。

マシューズさんは、いじめやドメスティックバイオレンスなどの暴力防止に携わり 30 年。

刑務所の保護観察プログラム、地域の暴力対応プログラム、家庭統合プログラムなど数多くのプログラムを開発されました。現在は、児童虐待防止団体などの役員を務めながら、企業・行政機関向けの研修を行っています。

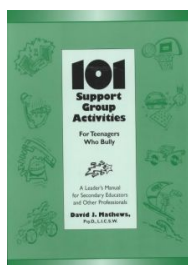
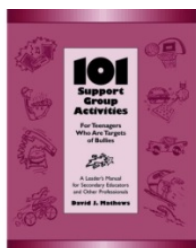


David J. Mathews（デビッド・マシューズ）さん ONE-T（ワン・ティー）代表

（著書）

101 Support Group Activities for Teenagers Who Are Targets of Bullies

「10 代のいじめ被害者 101 のアクティビティ」



101 Support Group Activities for Teenagers Who Bully

「10 代のいじめ加害者 101 のアクティビティ」

9日は、瀧田信之理事長から「いじめ防止プログラム」「スクール・バディ活動」についての説明の後、マシューズさんの講義。10日、11日は、アメリカで行われている様々なアクティビティを体験しました。



瀧田理事長



David J. Mathews 氏



参加者の多くは教育関係者でしたが、出版社、カウンセラー、学生、保護者などの参加もあり、「いじめ」に対する関心の高さがうかがわれました。



(積み木のアクティビティ)

1つのルールが提示され、それをどう解釈するか？ 固定観念にとらわれやすい事を体験しました。



(毛糸のアクティビティ)

さまざまな立場の人たちのネットワークで、問題を抱えた子どもを支えていかなければ…



暴力の被害者は、脳にダメージを受けることが科学的に実証されつつあるといえます。

いじめの加害者のうち、85%～90%が幼少期に暴力の被害を受けているそうです。



(湘南DVサポートセンターでは、小学生向けの、飛び出す絵本の教材を開発中)

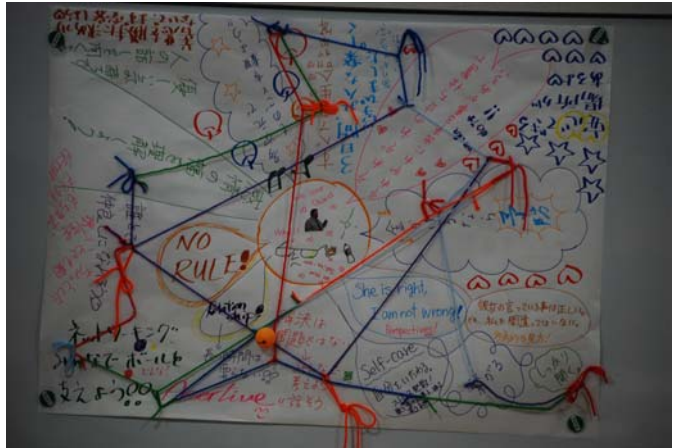


(ヒーリングサークルのアクティビティ)

クラス内に問題が起きたとき、加害者がどんな気持ちだったのか、それを見ていた子どもが何を感じたのかを輪になって話していきます。ヒーリングサークルを重ねる事で、深刻な事例が減って来ているそうです。



(3日間を振り返るアクティビティ)



子どもたちを支えるために、参加した人たちが連携していくことを確認して3日間の研修は終了。